

研究機関名：東北大学

受付番号：	2012-1-298
研究課題名	外傷後ストレス障害（PTSD）に対する治療実態調査
研究期間	西暦 2012 年 6 月（倫理委員会承認後）～2013 年 3 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（薬物療法の診療録）
上記材料の採取期間	西暦 2011 年 06 月～2012 年 05 月
意義、目的	<p>大規模自然災害に伴って発症した PTSD 患者を主な調査対象者とし、治療実態調査を行い、本邦被災地域を含む精神科臨床現場における外傷後ストレス障害（PTSD）に対する薬物治療の現状を明らかにする。本調査により、これまでに報告されている犯罪被害、性的暴行・虐待や、重大な事故等を主な発症原因とする PTSD 患者の治療実態との差異についても考察できるものと考えられる。</p> <p>また、本実態調査を通して得られたデータは、日本人 PTSD 患者に対する治療ガイドライン作成の一助とするとともに、厚生労働省に対して PTSD に対する有効な薬物治療の保険適応を求めて行く予定である。</p>
方法	<p>本調査では、2011 年 6 月～2012 年 5 月の期間に、研究参加施設において新たに PTSD と診断され、薬物治療が行われたすべての患者を対象とする後方視的調査を行う。調査は研究参加施設の調査責任医師に対する web survey の形式で実施される。調査対象となる患者情報は連結不可能匿名化され、電子的にデータが収集される。</p> <p>【主な調査内容】患者背景（年齢・性別）、発症の原因、診断方法、既往歴・合併症（精神疾患）、受診時の重症度（GAF）、治療薬剤名（主剤）とその投与量（初期用量・維持用量・最高用量）、投与期間、併用薬・併用療法（精神神経用剤・療法）、有害事象、PTSD 症状に対する効果（CGI）</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座 准教授 松本和紀 TEL/FAX 022-717-8059 e-mail: kax-mat@umin.net